

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2000-298141 (P2000-298141A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 24 日 (2000.10.24)
 【出願番号】特願 平 11-108024
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 R 1/073
 G 0 1 R 31/28
 G 0 1 R 35/02
 H 0 1 L 21/66

【F I】

G 0 1 R 1/073 E
 G 0 1 R 35/02 A
 H 0 1 L 21/66 B
 G 0 1 R 31/28 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 1 月 24 日 (2005.1.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 9】

前記フレームは、左右方向に間隔をおいて前記ベースに配置された下部フレームと、該下部フレームと共同して前記空間を形成すべく前記下部フレームに配置された上部フレームであって前記押圧体を支持しかつ前記空間を上方へ開放する上部フレームとを備え、前記カードホルダは、その一部を前記第 2 の開口に位置させた状態に前記ベースフレームに配置されていると共に、前記下部フレームの前方への開放箇所を介して前記空間に出入り可能である、請求項 2 から 8 のいずれか 1 項に記載の検査装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 3】

ベース 2 2 は、円形の開口 3 2 を中央に有する。フレーム 3 0 は、前後方向（図 4 において左右の方向）に間隔をおいた一対の下部フレーム 3 4 と、下方に開放するコ字状の上部フレーム 3 6 とを備える。両下部フレーム 3 4 は、開口 3 2 の上方の空間が両者の間に入るように、ベース 2 2 に配置されている。上部フレーム 3 6 は、一方の下部フレーム 3 4 の上部にシャフト 3 8 により枢軸運動可能に連結されている。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 9】

リンクアーム 9 8 は、上下方向へ伸びる軸線の周りに角度的に回転可能に押圧板 4 4 の

下面に組み付けられており、また結合用リング 9 2 に設けられたピン 9 3 と、ピン 9 3 が滑動可能に係合するようにリンクアーム 9 8 に形成された長穴 9 5 とにより、結合用リング 9 2 に係合されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

先ず、押圧板 4 4 が駆動機構 4 6 により図 4 に点線で示す位置に変位される。これにより、接続器 7 0 及び中継器 7 2 は、図 1 4 (A) に示す位置から図 1 4 (B) に示す位置に移動される。すなわち、接続器 7 0 及び中継器 7 2 は、カードホルダ 1 1 4 から取り除かれると共に、スライドトレイ 1 2 0 の出し入れの妨げにならない位置に移動される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 9】

次いで、押圧板 4 4 が駆動機構 4 6 により図 4 に点線で示す位置に変位される。これにより、接続器 7 0 はプローブカード 1 2 と共にカードホルダ 1 1 4 に受けられているが、中継器 7 2 は、図 1 6 (A) に示す位置から図 1 6 (B) に示す位置に移動される。すなわち、中継器 7 2 は、カードホルダ 1 1 4 から取り除かれると共に、スライドトレイ 1 2 0 の出し入れの妨げにならない位置に移動される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

次いで、使用済みのプローブカード 1 2 及び接続器 7 0 がカードホルダ 1 1 4 から取り出され、その代わりに同種の他のプローブカード及び対応する接続器がカードホルダ 1 1 4 に配置される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 1】

上記実施例においては、接続器と中継器とにより接続装置を形成して、中継器を各種のプローブカードに共通に用いているが、接続装置をプローブカードの種類毎に用意してもよい。この場合、接続器及び中継器の機能を備えた接続装置とされる。